

平成 23 年 1 月 28 日 (金)

「仕事の大切さを教えてもらいました」

「仕事の大切さを教えてもらい、ありがとうございました」。19、20日に大豊建設が手掛ける東京都内の土木現場で職場体験学習を行った中学生から、同社東京支店にお礼に手紙が届いた。2日間の体験を行った江東区立大西中学校2年生の3人は、手紙の中でそれぞれの体験から得た感想をつづっており、自分これから進むととする進路や

紙の手紙から中学生の職場体験 大豊建設にお礼

生き方を考えるのに良い機会となったことに感謝した。大変だった」「職場体験学

習を生かして、3年生に向けて自分の生き方を考えていきたい」「イメージして行った。3人は、普段の仕事ではなく、船を使って入ることがない現場で行われる品質管理や測量のやり方などを学びながら、2日間を過ごした。お礼の手紙には、「仕事の大切さが分かった」「測量実技で目がすごく疲れて大変だった」「職場体験学

習を生かして、3年生に向けて自分の生き方を考えていきたい」「イメージして行った。3人は、普段の仕事ではなく、船を使って入ることがない現場で行われる品質管理や測量のやり方などを学びながら、2日間を過ごした。

お礼の手紙には、「仕事の大切さが分かった」「測量実技で目がすごく疲れて大変だった」「職場体験学

平成 23 年 1 月 28 日 (金)

「建設の仕事してみたい」

中学2年生から礼状届く

大豊建設 〇〇部

寒い日が続いておりましたが、いかがお過ごしでしょうか。先日は、お忙しい中、職場体験をさせていただきまして、本当にありがとうございました。

2日間 職員の体験させてほしい色々な経験や、仕事の大切さを教していただき、ありがとうございました。

測り量のときに目もりを誤みとるのが大変でした。また、本機がなければ支店長の話を聞かなくてはいけなかった。改めてお礼申し上げます。

今回の職場体験学習を通して、これが3年生に向けて自分の生き方について考えていきたいと思えます。皆様もどうぞお体に気をつけてお過ごしください。

平成 23 年 1 月 21 日 江東区立大豊田中学校

大豊建設が 職場体験実習

大豊建設が職場体験実習と施工する「小名木川低水路整して受け入れた中学2年生から礼状が届いた。同社JVが地震などによる水害を防ぐため、長さ203mにわたって（東京都江東区）を19、20の両日に中学生3人が実習、貴重な経験をした。中学生からは「機会があれば建設の仕事してみたい」「仕事の大切さを教えてもらった」などの感想が寄せられた。

実習の場となったのは東京都が発注し、大豊建設・成和が会になったようだ。

施工する「小名木川低水路整備工事（その12）」。

高潮や地震などによる水害を防ぐため、長さ203mにわたって河川整備を進めている。

実習の中でも特に印象が強かったのが、測量実習。「測量実技は目がすごく疲れて大変だった」「目盛りを読み取るのが大変だった」などの苦労がつけられている。進路を決める3年生に向けて、自らの生き方を考え直す絶好の機会になったようだ。